

製品外観



- (A) 電源／撮影ボタン
(B) 動作ランプ
(C) 赤外線 LED
(D) カメラレンズ
(E) USB ポート
(F) リセットホール
(G) microSDカードスロット

注意

- * microSDカードが未挿入・未対応・不良の場合、正常なランプ点灯の確認ができません。
- * 防犯カムカムが推奨しているメーカーまたは防犯カムカム純正のmicroSDカードをご使用ください。
- * パソコンに接続してもデータを読み込まなかったり、本体を認識しない場合は、microSDカードをカードリーダーを使用、またはPCに直接接続してご確認ください。
- * 本製品はメーカー側の都合により、一部デザインや製品仕様および機能、付属品の内容やランプの点灯色が異なったり等、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

本製品の使い方

■充電方法

1. 付属のUSBケーブルを本体のUSBポート(E)に繋ぎ、ACアダプター(DC-5V 1A/2A)等に接続。
 2. 動作ランプ(B)が赤点灯→青点滅。(充電中)
 3. 動作ランプ(B)が赤点灯。(充電完了)
- ※充電はmicro SDカードを抜いた状態で行ってください。
※充電ランプに関わらず、4-5時間を目安に充電を行ってください。充電後は、過充電を避ける為、本体を取り外してください。

■電源を入れる前に

- フォーマット済のmicro SDカード(別売)を本体の(G)に挿入。
- ※ micro SDカードが挿入されていないと、電源を入れても青・赤同時点滅して消灯(電源OFF)になります。
- ※破損を防ぐため、micro SDカードの抜き差しは丁寧に行ってください。
- ※本体電源が入った状態でmicro SDカードを抜き差ししないでください。カードが壊れたり、中のデータが壊れる場合があります。(カード自体やデータの復旧・保証はいたしかねます。)

■赤外線LEDライトF

- 暗くなったら自動で赤外線がONになります。
- ※照射距離は約1mです。
- 被写体との距離が近すぎると赤外線が点滅する場合があります。(光は目には見えません)

■電源ON

1. (A)を約3秒長押し。
2. (B)が青1回点滅⇒点灯。(電源ON&撮影待機状態)

■電源OFF

1. 撮影待機中に(A)を約5秒長押し。
 2. (B)が赤青同時点灯⇒消灯。(電源OFF)
- ※撮影待機中、操作が1分間ない場合、自動で電源がOFFになります。

■動画撮影

1. 撮影待機中に(A)を約2秒長押し。
 2. (B)が青色に3回点滅⇒消灯。(動画撮影開始)
 3. 撮影中に(A)を短く1回押し。
 4. (B)が青色に点灯。(動画撮影停止&撮影待機状態)
- ※停止した時点で5分ごとの動画ファイルを保存します。

■静止画撮影

1. 撮影待機中に(A)を1回押し。
2. (B)が青色に1回点滅⇒点灯(1枚撮影&待機に戻る)

■動体検知撮影

- 1.撮影待機中に(A)を素早く2回押し。
- 2.(B)が青点灯&赤3回点滅⇒消灯。(動体検知撮影開始)
※動きを検知しないと撮影停止&待機。再度動きを検知すると赤青1回点滅⇒消灯。(撮影再開)
- 3.撮影中に(A)を短く1回押し。
- 4.(B)が青色に点灯。
(動体検知撮影停止&撮影待機状態)
※停止した時点で3分ごとの動画ファイルを保存します。

■充電しながらの録画

本体をモバイルバッテリー等の外部電源に繋ぐことで充電中の操作が可能になります。

■撮影ファイルの確認方法

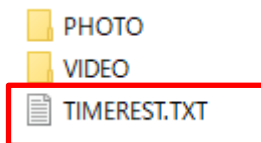
- 1.電源OFFの状態、撮影ファイルが保存されたmicroSDカードを本体に挿入。
- 2.本体をパソコンに繋ぐ。
- 3.パソコンがリムーバブルディスクを自動で認識。
- 4.リムーバブルディスク内に保存されたファイルをパソコンに移行。
- 5.パソコンに保存したファイルを確認。
※録画したファイルはできるだけパソコンへ移行したうえで閲覧してください。移行しない状態で再生した場合に起こる、ブロックノイズの発生や再生不可を改善できます。
※パソコンに認識しない場合は、microSDカードを直接パソコンに接続、またはカードリーダー等で読み込んでください。
※映像が映らない、音声がでない、フリーズ等がございましたら再生するメディアプレイヤーをGOMプレイヤー、KM Player、VCL Media Playerへ変更してください。

■リセット

爪楊枝のような先の細いもので(F)を押す。(リセット完了)
※正常に動作しない場合はリセットをお試しください。

■タイムスタンプ設定

- 1.micro SDカード挿入後、付属のUSBケーブルを本体のUSBポート(E)に繋ぎ、パソコンに接続。リムーバブルディスク内に「TIMERSET」が自動生成されているのを確認。
※自動生成されていない際は「TIMERSET」テキストファイルを作成してください。



- 2.ファイル内の書式を、希望の日時等書き換えて書き。

(時刻表示ONにする場合)

20170612235939 Y

(時刻表示OFFにする場合)

20170612235939 N

- 3.上書き変更したら、保存してカメラ本体をパソコンから取り出し、撮影を行うと変更が反映されて完了。

※設定変更前の撮影データは変更されません。
※設定後もTIMERSETファイルを開くと、設定前の古い日時が表示されますが問題ございません。
※microSDカードを交換、フォーマットされた場合は、再度タイムスタンプ設定が必要です。

MEMO